

2020年(令和2年)9月24日(木)

## 住民投票の署名提出

三島駅南口再開発  
5206人分、市民団体

三島市が進める三島駅南口東街区再開発の「推進」か「見直し」かを問う住民投票条例制定を求める署名活動を実施した「みんな三島の未来を創る会」が23日、5206人分の署名簿を市選挙管理委員会の望月正己委員長に提出した。

住民投票条例案は、東街区再開発について「市民の意見を取り入れて見直す」か「現計画のまますすめる」の

2択を想定。市長と市議会は「住民投票の結果を尊重しなければならぬ」とする。条例制定の直接請求に必要な署名数は、有権者数の5分の1(1831人)以上。市選管は20日以内に署名簿の審査を済ませる。創る会は10月下旬に条例の制定

を求める本請求を市に行う予定。

望月委員長は「貴重な署名で熱意を感じる。慎重に審理する」と述べた。市内在住で請求代表者の一人、吉岡肇さん(68)は「署名数は現計画への不信、市民の真摯な声の結晶だ。署名集めが目的でない。ぜひとも市議会に条例案を可決してもらいたい」と述べた。

【石川宏】



住民投票条例制定を求める署名を望月正己・市選挙管理委員長(左)に提出する請求代表者の吉岡肇さん＝三島市役所で